

財務指標の例③

自己資本利益率

2018年度の自己資本利益率（全産業・全規模）は8.4%

※業種別・資本金別

業種	資本金			
	1,000万円未満	1,000万円~1億円	1億円~10億円	10億円以上
製造業	10.6%	5.4%	6.0%	9.7%
非製造業	10.0%	5.8%	10.5%	9.4%

(1) 財務指標の説明

自己資本利益率とは、当期純利益の純資産（新株予約権を除く）に対する割合を言い、株主から調達した資金と過去の収益のうち内部留保していた資金により、どの程度の利益をあげているかを見る尺度です。

自己資本利益率が高い場合は、株主からの資金が有効に利用されていると言えます。なお、自己資本利益率は、一般にROE（Return on Equity）と呼ばれています。

$$\text{自己資本利益率(\%)}^{*} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{純資産 - 新株予約権}^{**} \text{ (期首・期末平均)}} \times 100$$

貸借対照表

資産の部	負債の部
I 流動資産	I 流動負債
II 固定資産	II 固定負債
III 繰延資産	
	純資産の部
	I 株主資本
	II 評価・換算差額等
	III 新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

I 売上高
II 売上原価
売上総利益
III 販管費
営業利益
IV 営業外損益
経常利益
V 特別損益
税引前当期純利益
VI 法人税等
当期純利益

* 2006 年度調査以前の定義は以下のとおり。

$$\text{自己資本比率(\%)} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{純資産(期首・期末平均)}} \times 100$$

** 新株予約権は、2007 年度調査から調査を行っている。

(2) グラフで見る最近の動き

2018 年度の製造業、非製造業を見ると、非製造業では当期純利益の対前年度増加率が純資産の増加率を上回った一方、製造業では純資産が対前年度比で増加し、当期純利益が対前年度比で減少したことから、全産業で見た自己資本利益率は前年度比で下降しています。

